

【取扱い厳重注意】

る注水を試みているようなんですけれども、ここで疑問というか思ったのは、HPCI が止まったのが 2 時 42 分で、その直後のパラメーターの値を見ますと、これは 3 月 13 日の 2 時 44 分のパラで見ますと、0.580MPa と。

○回答者 これは、私は後で見るとは思いますが、途中で 3 号機の原子炉圧力が下がっていたという記憶が、今、ないんです。

○質問者 HPCI が起動中に、それがよく効いて、圧力が下がる。

○回答者 それはないです。あり得ないです。HPCI がうまく働いたからといって、炉の中の崩壊熱を全部吸収して圧力を下げるような、そんなものはないですから、圧力なんか絶対にこんなに下がりはしません。ですから、今、これを見ていても不思議です。

○質問者 これを見ると、このパラメーターと HPCI の関係を読み比べていくと、HPCI は 3 月 12 日の 12 時 35 分に自動起動しているようになっているんですが、これは、ちょうどパラメーターを見ますと、3 月 12 日の 12 時 10 分に 7.530MPa あったものが、35 分に起動したとされて、その直後、12 時 45 分には、5.600 となって、その後、どんどん下がって行って、こんな感じにはならないんですか、普通は。

○回答者 ならないと思います。というか、まず、圧力がなくなると HPCI は止まるわけですね、蒸気が、圧力が、駆動蒸気圧がなくなりますから、ここで下がってまた上がっていますね。これはわかりません。済みません、私はここ記憶がない。何せ 12 日の朝から夜でしょう、ちょうど 1 号機をやって、1 号機が爆発したりとか、1 号機の注水だとか、さっきの話じゃないけれども、邪魔されながら注水している段階で、この 3 号機のパラメーターの変化について、ほとんど記憶がないんです。

私は、このときは HPCI が回っていて、3 号機はまだ大丈夫だと、RCIC が、忘れちゃったけれども、まだ次のステップだと思っている段階です。

○質問者 要するにこのパラメーターなんかは、原子炉の圧力の値なんかを発電班なり当直の人間が、HPCI が。

○回答者 これは、本当にあそこを書いてあったデータを持っていますか、中央操作室に書いてあったデータを。

○質問者 ここに取った根拠が何かというのは、これは東電の方で把握されているデータ。

○回答者 ですね、ですから、私はここは、こんな値が、要するに計測不可、要するに空白になっていますね、計測不可だったと思うんですけれども、ここが計測不可だったものをどこかの値を後で持ってきた可能性がないかだけ確認しておいていただきたいんですけれども、ですから、円卓で見ているデータと、しょっちゅう計測不可になっているわけですよ。それで、計測屋が一生懸命バッテリーをつないで見るとは思いますが、バッテリーがなくなると、もう見られなくなってしまいますから、そういう監視機器が、そのとき何が生きていたかというのが、一番重要で、あとからいろんなメモリーされたデータを持ってきて、こうなっていましたと言われても、知りませんというのが、私のあれでしかないんですけれども。

○質問者 当初は、この HPCI が起動中の所長の認識はどうなっていたんですかね。圧力が 1 MPa 未満まで十分に下がり切っているみたいな、そんな認識ではなかったんですか。

○回答者 ですから、HPCI が動いているというのは、それが高い圧力のまま、蒸気が出ていて、その

【取扱い厳重注意】

蒸気をうまく逃がしながら、その蒸気を水に戻して注水しているというシステムですから、それが生きているということは、逆に言うと、7メガ近辺の炉が安定して運転されているという認識しかないです。

○質問者 そうしたら、他方で、DDFPのことが、今、ここに書いてありましたので、DDFP、3号機については、これは、どういう認識だったんですが、これは使おうと思えば、使えるという。

○回答者 ですから、DDは、この前も1号のときに申しましたように、要するに逆止弁があって、圧力バランスで、相手側の圧力が高いときは注水できませんけれども、相手側の圧力が自分のときのポンプの圧力よりも下がれば注水できるというのが基本的な形ですから、そのDDの注水をしなさいという指示をした覚えは、私はないんです。ですから、発電の方でいろんな工夫をしていたんだと思うんですけれども。

○質問者 例えば1号機に関して言いますと、3月12日の未明、1時48分ごろなんですが、DDのポンプが不具合で動かなくなったというようなことがどうもあったみたいで、そういうようなポンプの故障とか、3号機のDDFPで、そういう要するに何か不具合か何かが発生して、DDFPがうまく機能しないと、そのDDの部分がですね、というようなことなんかは報告を受けたりなんかはしていましたか。

○回答者 1号機がDDがだめになったという話は聞いています。それで、3号機がどうだということについては、3号機はまだ大丈夫だという話は聞いていた。だけれども、それで注水しなさいだとか、そういう指示はしておりません。

逆に言うと、原子炉の圧力が落ち切るまでDDを動かしたって入らないに決まっているじゃないというだけの話です。

○質問者 あと、DDに関して言うと、水源がろ過水タンクということになっていると思うんですが、そこからずっと配管をつないでというところで、そういうところで、3月11日の夕方ごろに、ろ過水タンクのところに破断が、水漏れが配管のところのどこかに生じたということで、元弁を閉めるという操作を自衛消防隊の方でされていると思うんですが、この辺りは、その後、どうなったんですか。

○回答者 それで、結局、水源の議論のときに、要するに、今だからこそ海水注入したというのが事実として出てきていますけれども、いろんな検討をしているわけですよ、水源として、当然、ろ過水タンクの水源も考えているんです。消火栓がラインが生きていれば、いろんなところに消火栓が立っていますから、消火栓から防火水槽に水を満たして、その水を消防車で送ってやれば、淡水注入だってできるわけです。ですから、そんな検討はやっているんですけれども、結局、消火栓が漏れていて出ません、これからろ過水タンクの水漏れがあるということだったら、水源が漏れているとまずいですから、まずは閉めると、それはいいんじゃないかということで、ここはOKした記憶がありますけれども、いずれにしても、どこか漏れているところを処置していったら、使えるラインをつくるしかない、そこはバラで指示はしていたんですけれども、何せ夜遅いだとか、電気もない、線量もだんだん上がってきているという中で、なかなかここも難しかった、実態として。

○質問者 それで、構造として、例えばあそこはろ過水タンクが2つあったと思うんですが、それで元弁を閉めた場合、素人考えでいくと、元を閉めてしまえば、結局、水がDDFPの水源としては、要するに、その先の方に、配管に残っている水ぐらいしか使うものがなくなっている。

○回答者 そこは、勿論そうですよ。だけれども、結局漏れていれば、そっちの方に水が行かなくなってしまうから、元弁を閉めるということは、ただ閉めるだけの話だけではなくて、閉めて、漏れて